

(全体進行：教頭1)

1 校長挨拶

2 校内参観 (PTA 授業参観の様子を参観)

3 協議・交流 <②以降は運営協議会員の意見を中心に記録>

①御嵩小 学校より最近の様子について伝達 (学校職員より)

- ・12～1月の校内行事予定について (教務)
- ・これまでの新型コロナ感染予防対策について、2学期の児童の様子について (教頭2)
- ・修学旅行、運動会について、前期学校反省アンケート結果について (教頭1)

②運営協議会員より感想やご意見 (進行：運営協議会長)

- ・コロナが収まっている時に、いろいろな行事ができ、学校生活が活発になっていてうれしい。
- ・参観してタブレット使った学習に興味をもった。授業者、子ども達の受け止め方について意見を聴きたい。
⇒(学校側回答)
 - ・子ども達は、使えることでとても喜んでいる。いかにルール、けじめをつけて使用できるかが課題。デジタル教科書を使用していると視覚的に示すことができ、子どもにとっても分かりやすい。メリハリを付けて学習することが大変である。1年生からの取組が大切である。
- ・オンラインでの授業を行うことがあるのか？ インターネットの危険性についてはどうか？
⇒・オンライン授業ができる準備は進めている。今後も計画的に整備する必要がある。インターネットの危険性については、情報モラル教育として課題である。
- ・タブレットの使用について、初期的な操作ができているのか。学年に応じた学習が必要である。一斉に使えないとできない子の学習が遅れてしまう。
⇒・タブレットPCの使用について授業に効果的な活用をしている。例えば理科。天体の動きについて2年生のみ2種類のタブレットを使っているが、やり出してしまうと、子ども達は職員を超えてしまうくらい速く覚えられ、学習能力がある。
- ・インターネットの扱いやゲームの使用については、保護者の考え方が一番大きい。他校では保護者向けの研修を行っている。
- ・授業の様子を見て、どのクラスも大変落ち着いてできていた。タブレット学習の成果はあるのか。積み重ねていくことで成果が出るのではないか。
⇒・算数の時間はよく使っている。3年生以上はほぼ毎日使用している。
- ・タブレットPCへのデジタル教科書の導入は？
⇒・有償なので難しい。町内各校1教科導入している。御嵩小は社会科。
- ・ヤングケアラーという言葉を目にするが、御嵩小児童の状況について情報があれば知りたい。
- ・運動会行事で、応援団がスタートした経緯を知って、すごくうれしい出来事だと思った。最上級生が下級生に向けて応援する姿は、きっと引き継がれて行くことになり、うれしいことである。先生の指示よりも子どもからの指示の方が子どもは聴く。6年生を動かしていくことが素晴らしい。
- ・学校反省アンケート結果を読んで、親が学校任せになっている。親が一言問いかけるとか、指導するとかして親からの発信がほしい。そうすることでいろいろな面が成長していく。挨拶運動や登下校の指導も同じである。そのために考えさせる場を大切にしてほしい。子ども、先生、保護者でディスカッションする場などがあってよい。
- ・学校反省アンケート結果を読んで、保護者の個人的な意見が多すぎる。最近の親は子どもに過干渉になっているのではないか。これからの子どもの自立に対する不安を感じる。コロナ禍の影響でストレスが保護者にもあるため、そのストレスを学校にぶつけているようにも感じる。
- ・子ども達に、自分でできる子になってほしい。社会の中で働きかける人になってほしい。

- ・学校反省アンケートの結果から、親と子の相互の受け止め方に違いがあることが気になる。例えば、4. 言葉遣い、あいさつ 8. 学習習慣 一緒に歩いていくことができているのであればこの差は出ないのではないかな。
- ・タブレットを使った授業が行われていていいなと感じた。参観中、1年生の教室で、職員が大きな声で厳しく指導する場面があった、保護者から何か意見は出ていないか気にかかった。
- ・PTA本部役員でも、児童会の取組の朝のあいさつ運動に参加する予定である。ミーモ君を登場させて、あいさつ運動を盛り立てていきたい。

4 校長よりお礼の言葉